

令和元年第2回定例会一般質問 会議録（抜粋・概略）

令和元年6月26日

3 つながりのまち摂津の実現への障がい者支援施策について

○松本議員

～略～

次につながるのまち摂津の実現への障がい者支援施策についてですが、共生社会の実現を目指し、2013年4月から障害者総合支援法が施行され、自立支援給付が開始、就労支援事業所等の運営には民間企業やNPO法人も加わり、また2018年4月以降、障害者雇用促進法の法定雇用率も上げられています。

本市でもこれまでの障害福祉が大きく影響を受けているかと思いますが、本市の現状についてお聞かせ下さい。

～略～

○嶋野議長

保健福祉部長

○保健福祉部長

障害福祉に関する本市の現状についてのご質問にお答えいたします。

障害者を取り巻く環境は、近年、めまぐるしく変化しており、法律も整備されてきております。その背景には国連障害者権利条約への批准が大きく関係しているものと考えております。

社会全体における障害者に対する理解が深まり、障害者の社会参加が進んでいることから、障害福祉サービスに参入する事業所も増加しております。摂津市内におきましても平成30年度では、居宅介護、重度訪問介護事業所が6箇所、就労継続支援A型事業所が2箇所など複数の事業所が新たに開設されております。また、大阪市内など他市におきましても多数の新たな事業所が開設されております。

サービスを提供する多くの事業所が存在することは、障害者にとって事業所を選択する幅が広がり、好ましい状況とはなっておりますが、一方で自分に合った事業所を探し、他市の事業所を選択する傾向も見受けられます。このことから、摂津市内の事業所においては利用者の確保に苦慮している現状にあると聞いております。

～略～

○嶋野議長

松本議員。

○松本議員

～略～

次に障がい者支援施策についてですが、利用者の選択肢は広がるも、本市事業所は利用者確保に苦慮されていると理解しました。

ただ地元で通えることがその保護者の方にも、利用者にとっても利便性があり、地域のつながりも深め、より良いのではないのでしょうか。それを踏まえれば、市内の各障害福祉事業所の時代に合わせた一層の魅力化が必要と思いますが、どうお考えかお聞かせ下さい。

○嶋野議長

保健福祉部長

○保健福祉部長

障害福祉サービス事業所が増加していることから、各事業所では経営を安定させるためにも利用者の確保が必要となっております。その為には、障害者から選んでいただける事業所になるため、魅力ある、また、質の高いサービスを提供することが必要であると考えております。それぞれの事業所では工夫を凝らし、多くの障害者から求められる事業所となるよう事業展開されておられますが、更に一層の取り組みが必要であるとも考えております。

○嶋野議長

松本議員。

○松本議員

さらなる工夫・魅力化への努力が必要であると理解しました。

それを踏まえ、障害者も健常者も地域で幸せに暮らせる、魅力ある街づくりを事業所とともに、本市としても促進すべきではないのでしょうか。

例えば、博報堂の「地域しあわせ風土調査」という資料によれば、地域の幸福度を後押しするエレメントの第1位は、「地域活動の機会や支援制度」となっています。また武蔵野大学通信教育部の『障害者の「はたらく幸せ」を考える』という論文に「社会参加ができることでの自尊心の醸成、周囲から感謝されることでの自己達成感の向上を得る機会となり、これらは就労の形態は何であれ、働くことで得られる幸福感と言える。」という一文があります。

諸々を考慮したとき、障害福祉における地域活動を通じた幸せづくり・魅力づくり支援策を検討すべきかと思いますが、どうお考えかお聞かせ下さい。

○嶋野議長

保健福祉部長。

○保健福祉部長

障害のある方も健常者と同様、社会に役立っていることを自覚することにより幸福度が増すものと考えております。

実際に障害のある方からは、いつも助けてもらっている。自分も人の役に立つ行動をし、社会の役に立っている実感を持ちたいと多くの方がおっしゃられております。障害者の社会参加が進んでいることから、そのような機会が提供できる環境を整えていくことも今後必要であると考えております。

○嶋野議長

松本議員。

○松本議員

必要性はあるということは理解しました。例えば、花壇整備に協力して頂くことは良いのではないのでしょうか。お花は、その美しさで見た人を幸せにします。また植えることで、明確にその成果がわかり、多くの人に喜んでもらえ、感謝されることの幸せを得られます。

市内には関係者の努力により多くの綺麗な花壇が整備されています。これを障害者、その保護者、そして地域の幸せに一層活用すべきかと思いますが、どうお考えかお聞かせ下さい。

○嶋野議長

保健福祉部長。

○保健福祉部長

障害のある方には、重度の方もいれば、軽度の方もおられます。それぞれが担っていただけの作業内容を検討する必要はございますが、花壇整備に協力することも障害のある方の幸福度が増す一助になると考えられます。

ご質問にもございましたように、花はその美しさで見た人を幸せにします。また、植えることで、明確にその成果がわかり、かつ多くの人に喜んでもらえるものと認識しております。これまで、花壇整備を維持管理するため、多くの方々のご尽力されておられますが、今後は、どのようなことが可能か、関係機関とともに検討してまいります。

○嶋野議長

松本議員。

○松本暁彦委員

是非、検討して頂ければと思います。市や事業所も含めより魅力的な障害者支援施策を促進し、つながりのまち摂津の実現への取り組みを要望致します。